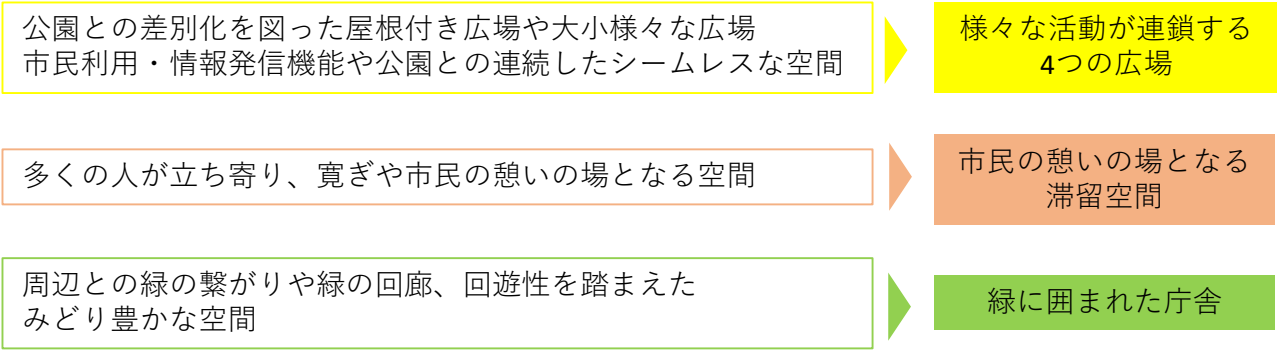


■仙台市役所本庁舎整備事業について

低層部・敷地内広場等の整備の方向性

仙台市役所本庁舎基本計画において、本庁舎低層部・敷地内広場等の整備の方向性として掲げる「新たな価値を生むための市庁舎」及び「都市に開かれた市庁舎」を実現させるために、下記のとおり、外構を計画していくこととします。

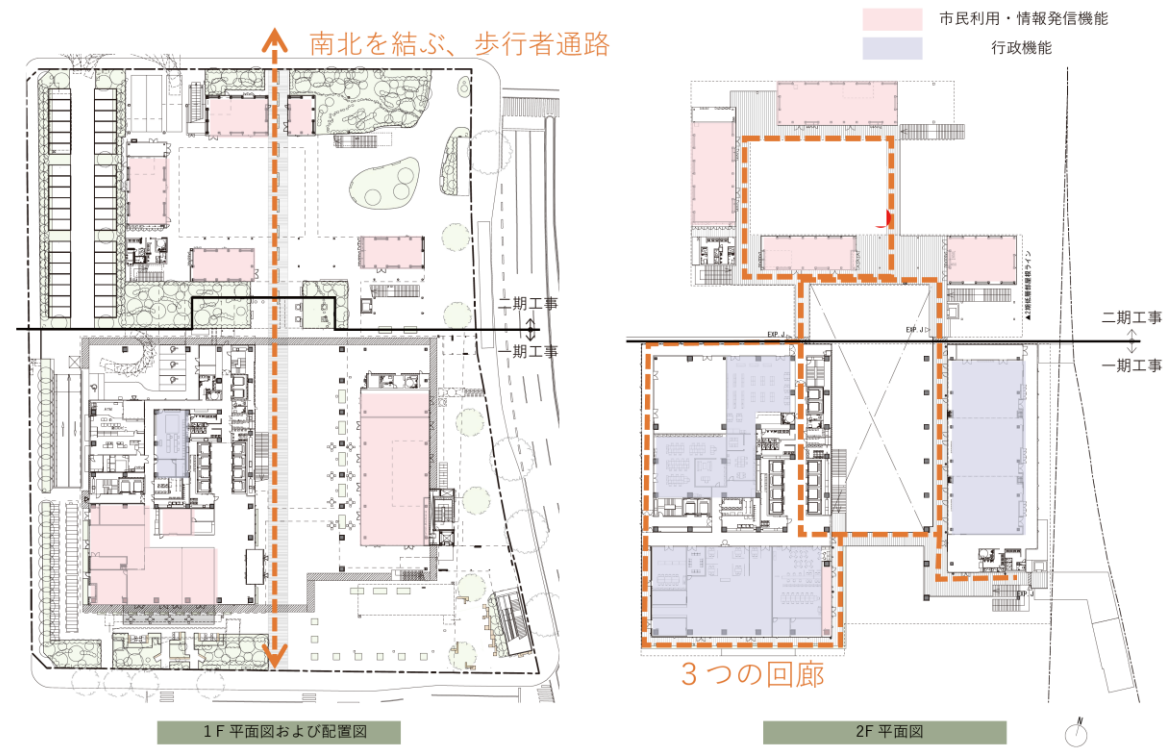


建物概要

低層部（1～2階）には、市民利用や情報発信機能を配置することで、敷地内広場や低層部の賑わいを感じられる計画とします。

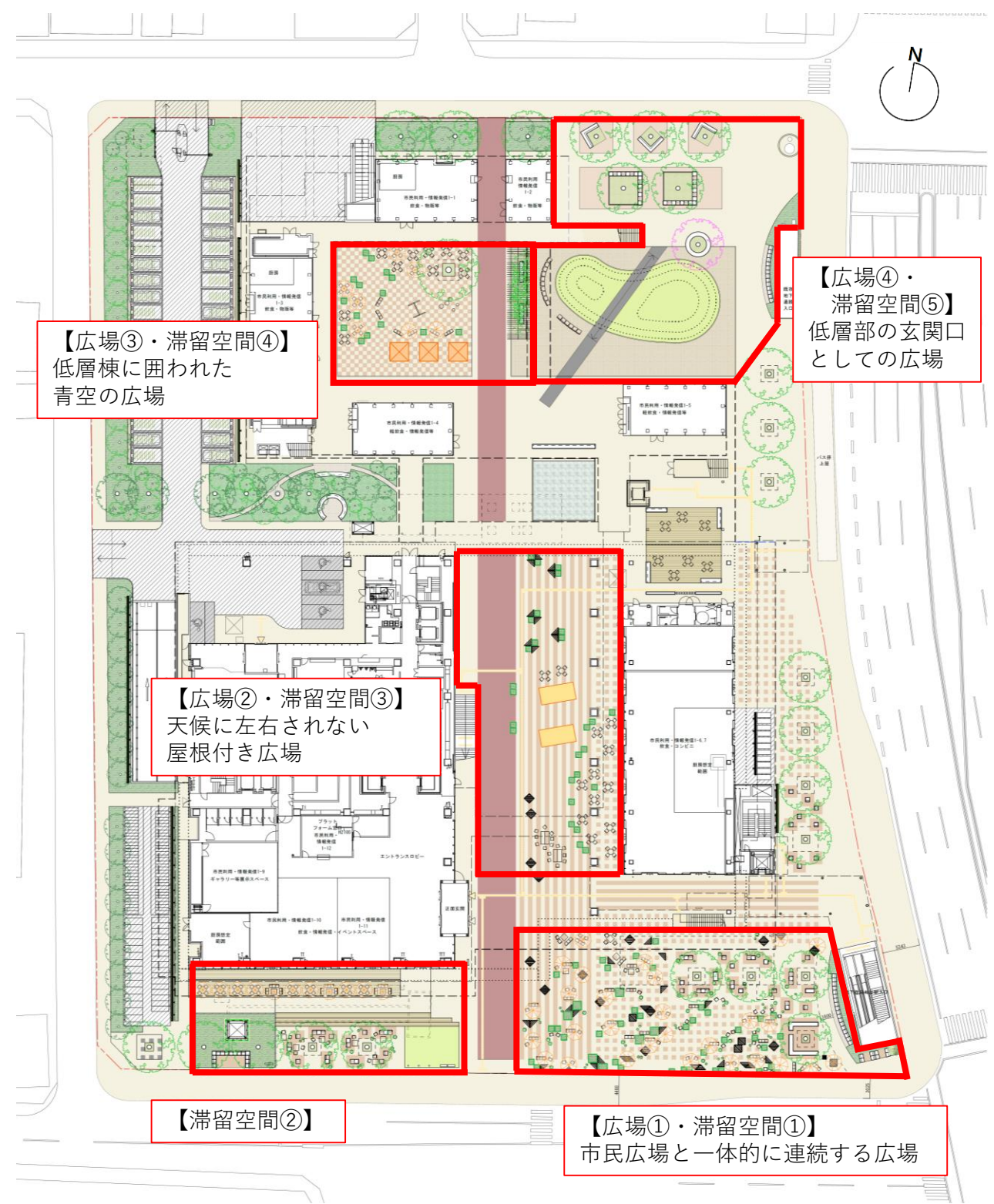
1階には、定禅寺通りから本敷地までのエリア全体のコンセプトにより、回遊性、利便性の向上に寄与する一番町商店街からの見通しを意識した南北を結ぶ歩行者通路を整備します。

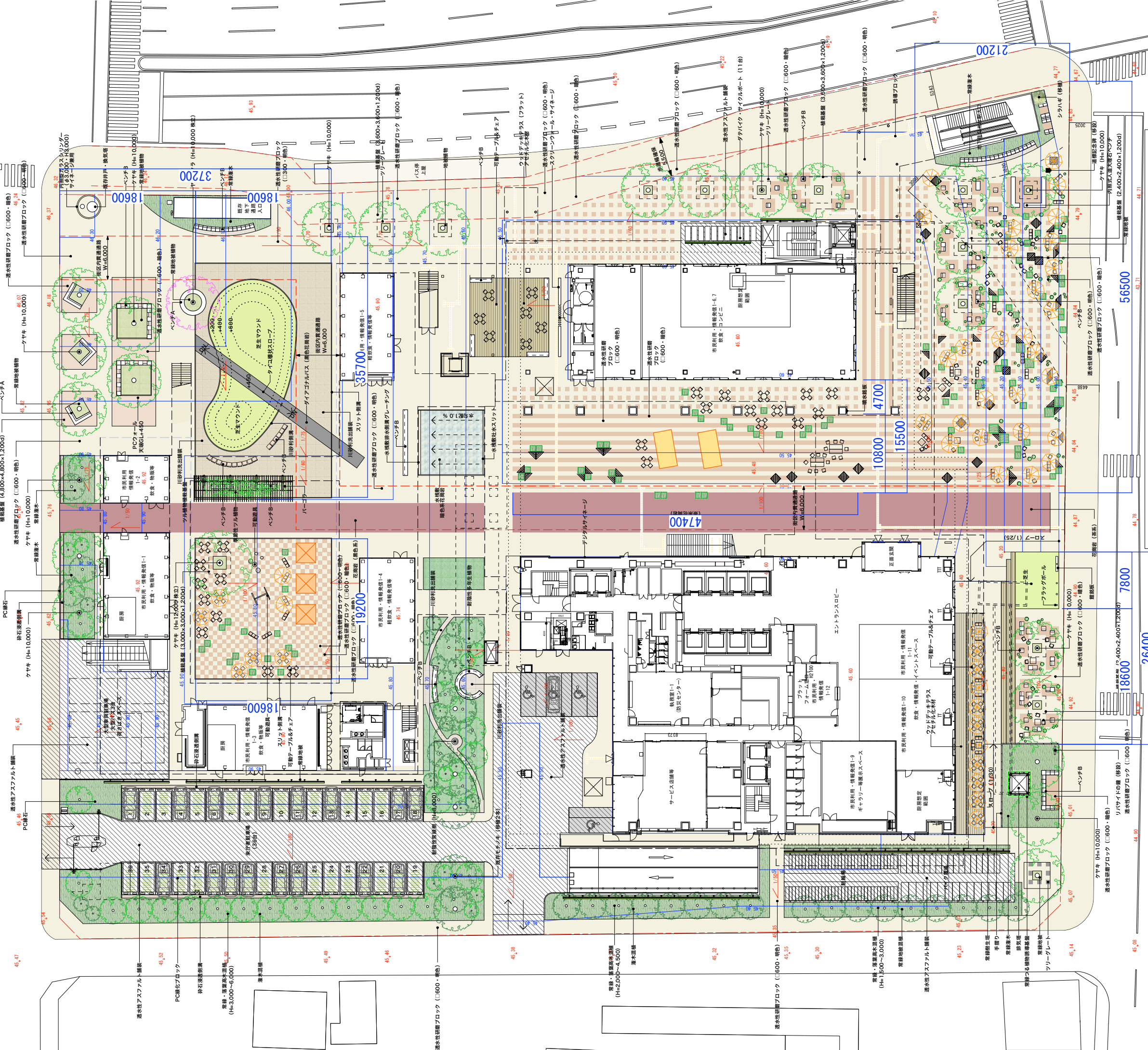
2階には、広場や市民利用・情報発信機能を囲うように、回廊状の通路を計画します。



外構計画

- ・4つの広場のほか、滞留する空間を設け、日常的に親しまれる場となるように、それぞれの空間に特徴をもたせ、敷地内を散策したりしながら、**楽しく過ごすことができる空間**とします。
- ・仙台市の多彩な市民活動・イベントの舞台となり、**日常的な市民の憩いの場**を提供します。

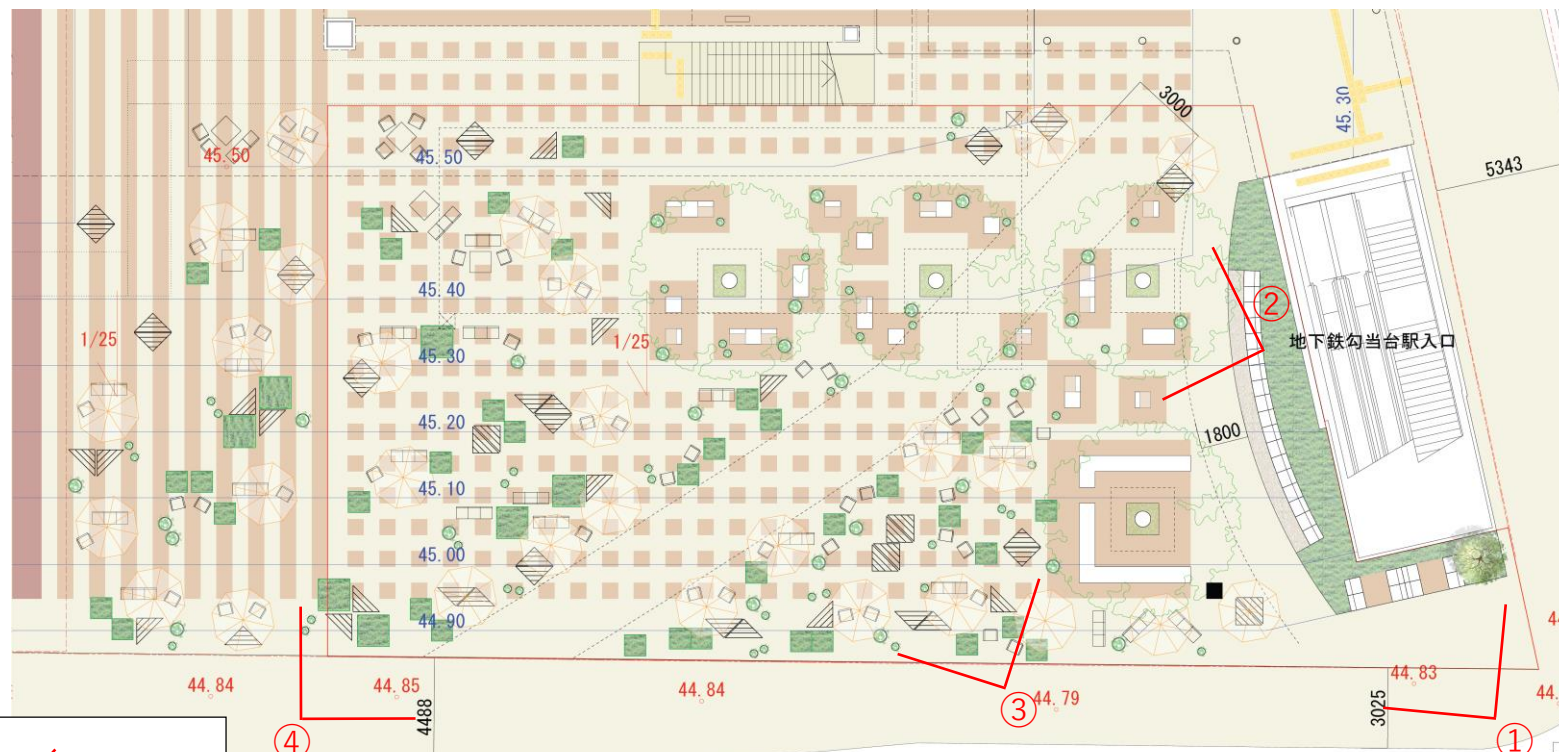




- 凡例
- ☒ : テント (2.5m x 2.5m)
 - 🌿 : 可動プランター
 - 🪑 : 可動テーブル&チェア
 - ☐ : 可動ベンチ
 - ☐ : 固定ベンチA (背もたれなし)
 - ☐ : 固定ベンチB (背もたれあり)
 - ☐ : 固定ベンチB (背もたれあり・木座面)
 - ≡ : 可動縁台ベンチ
 - 🌀 : 可動パランソル
 - ☐ : 可動テーブル
 - 🟡 : キッチンカー (2.5m x 5.0m)

50m

【広場①・滞留空間①】 ひらかれた市役所の顔となる場



■コンセプト

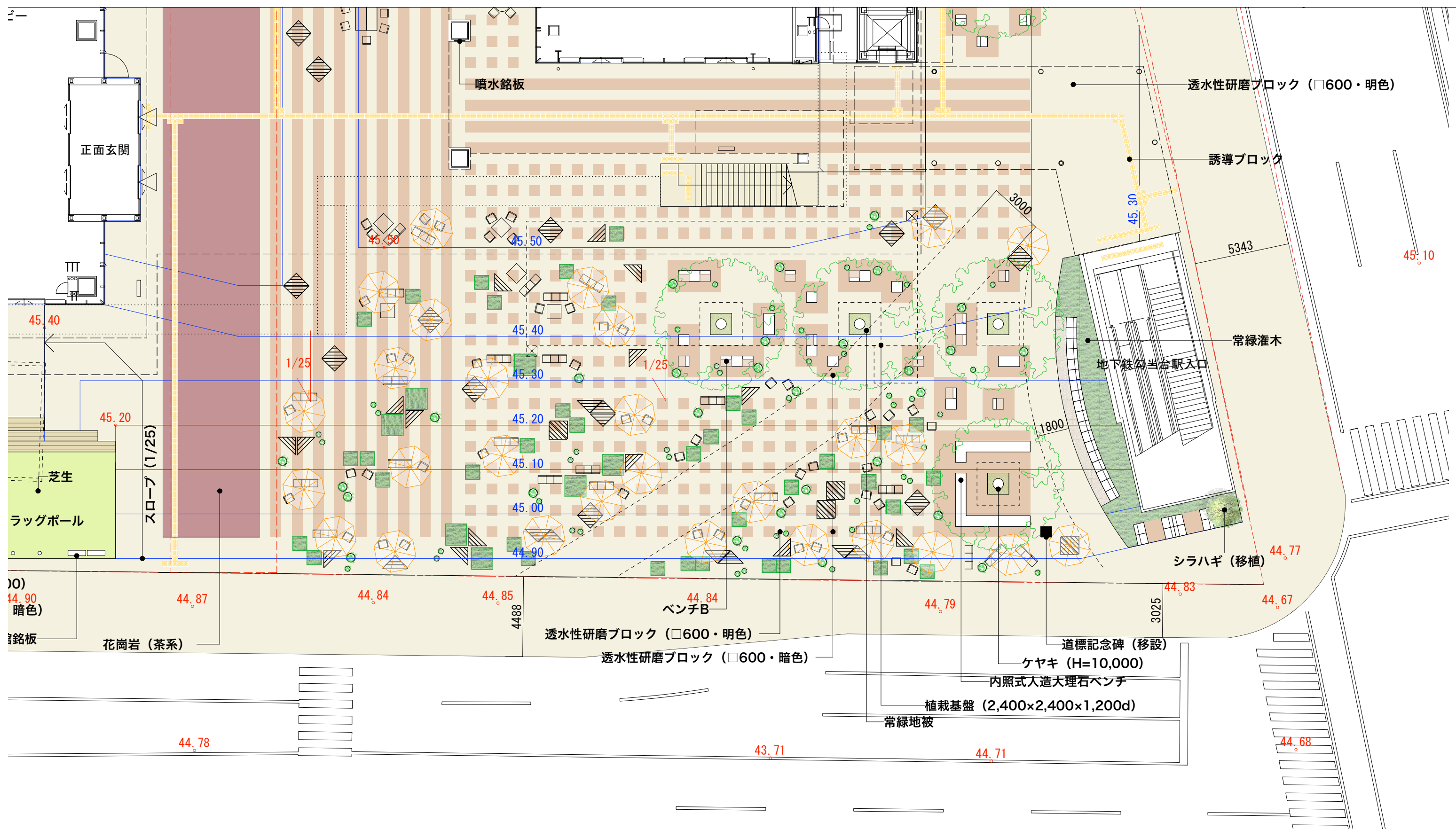
- ・多くの人が行き来する交差点に面した開放的で明るい空間であり、訪れた人を迎え入れる、市役所の「顔」としての魅力的な空間とします。
- ・日常時には、ランチや休憩、市役所・勾当台公園駅周辺での待合せ場所等で気軽に使い、楽しそうな表情が見える**賑わいの場**とします。
- ・イベント時には、勾当台公園市民広場・表小路線との一体的な利用も可能なオープンスペースとします。

■計画

- ・人の流れを考慮し、北東からの動線を確保します。
 - ・動線の南東側には数多くのベンチを設置し、交差点より歩いてきた人から、一目で分かるようにベンチが見え、**滞留する場であることを分かりやすく**します。
 - ・動線の西側についても積極的に利用されるように、通路としての幅を確保しつつ、ベンチもできるだけ設置します。
 - ・広場①の北東側（イベント時に支障がない範囲）には、「杜の都」を象徴するケヤキを配置し、緑陰を感じながら快適に過ごせるような空間とします。
- ・荷物を置いたり、複数人でも座れる様々なベンチを用意します。また、ベンチ周辺には植栽を設置し、安心して休めるようにします。
 - ・人を呼び込むようにパラソルを多く設置し、遠くからでも滞留空間であることが分かるようにします。

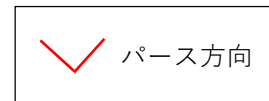
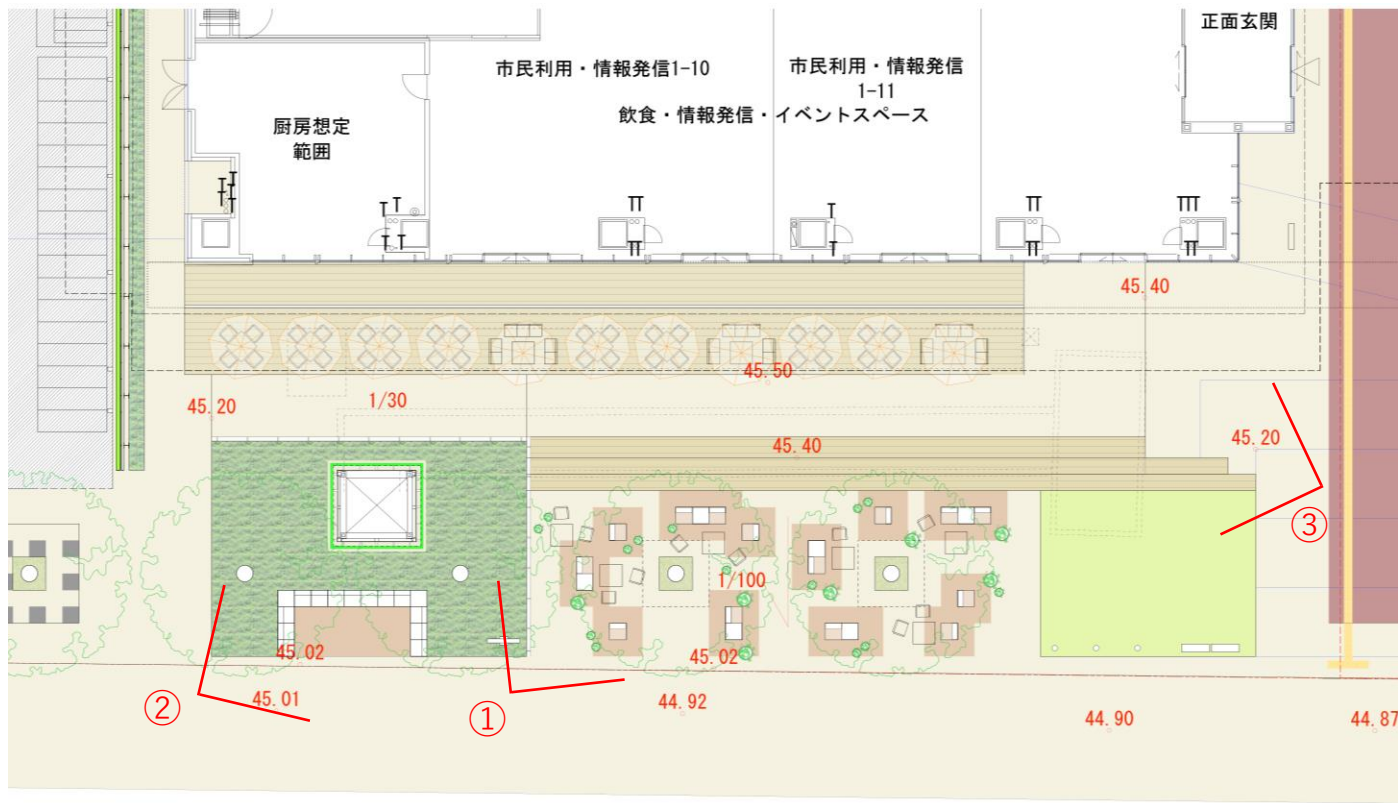
✓ パース方向





- 凡例
- : 固定ベンチA (背もたれなし)
 - : 固定ベンチB (背もたれあり)
 - : 固定ベンチB (背もたれあり・木座面)
 - ▲ : 可動縁台ベンチ
 - : 可動パラソル
 - ⊞ : 可動プランター
 - ⊞ : 可動テーブル&チェア
 - ⊞ : 可動ベンチ
 - : 可動テーブル

【滞留空間②】 街路に沿って設えられる居心地のよい憩いの場



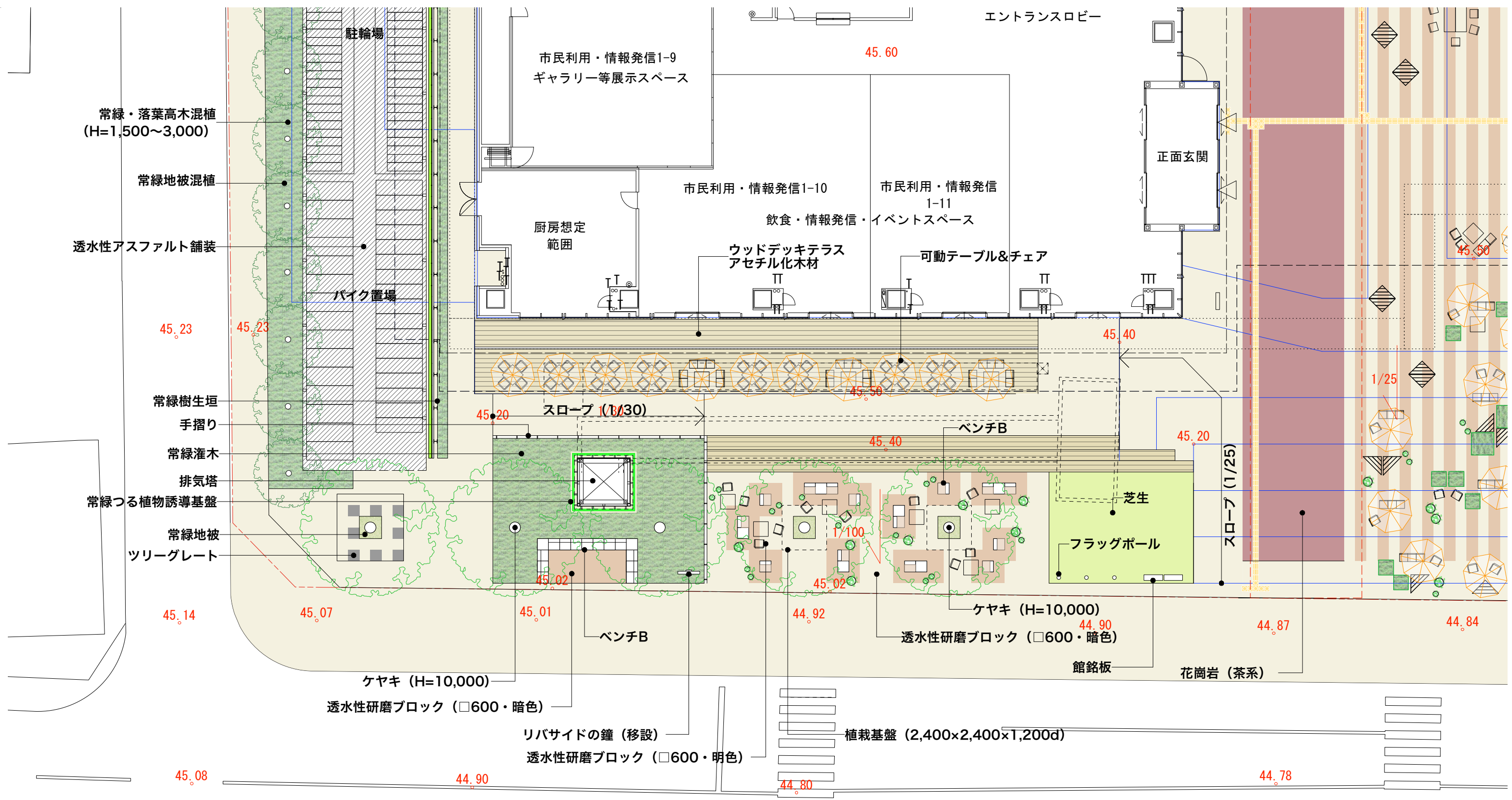
■コンセプト

- 訪れた人や飲食店の利用者が落ち着いて過ごすことができる憩いの場とし、居心地のよい空間とします。

■計画

- 建物側には、1階に配置される飲食店のテラス席として、気軽に使えるようテーブルとベンチを設置し、床はウッドデッキとすることで滞留を促します。また、パラソルを設置して居心地よく快適に利用できるようにします。
- 道路側は歩道から人を迎え入れるよう、歩道と段差のない空間とし、様々な方向を向いたベンチを設置することで、互いに意識をせず落ち着いて座ることができるようにします。また、ケヤキを配置し、緑陰のもとで過ごせる快適な環境とし、十分な枝下高さを確保することで、敷地の外からも見通せるようにします。
- 東側には芝生広場を、西側には建物（換気塔）を隠すように壁面緑化と植栽帯を設置することで、緑を感じながら過ごすことができるような空間にします。
- 建物側と道路側で高低差をつけることで、2つの空間の領域を分け、抵抗なく利用できるスペースとしながら、階段に座って休むこともできるようにします。





- 凡例
- : 固定ベンチA (背もたれなし)
 - : 固定ベンチB (背もたれあり)
 - : 固定ベンチB (背もたれあり・木座面)
 - △ : 可動縁台ベンチ
 - : 可動パラソル
 - ⊞ : 可動プランター
 - ⊞ : 可動テーブル&チェア
 - ⊞ : 可動ベンチ
 - : 可動テーブル